

1991年9月3日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5

6・7・8)

発行



この現代社会で、もう戦争なんて起こらないと思っていた。大気汚染、海洋汚染などへの環境問題、人種、障害者、あらゆるマイノリティへの人権問題、動物に対する法律さえも、より生存権へ配慮したものへと充実していく中で、戦争なんて愚かなことは起こらないと思っていた。またコロナ禍で世界的なパンデミックになりながらも、科学者が国境を越えて協力し合い収束への共通の目的に向けて、高い知性のもとに協力し合うことが当たり前になっていくと思えた。

それでも災害は避けられない。阪神淡路大震災では、多くの火災が発生し、戦場の跡のような景色を思い出さのせ、救えなかった命に皆、心を痛めた。東日本大震災では津波により、一瞬にして何もかも流されてしまう恐怖とともに、原子力発電所の爆発による長期的な放射能汚染の恐怖と、故郷へ帰れない悲しさに胸が痛んだ。

そしてまさかの戦争。

砲撃により、火災、家や財産、大切な人、家族を失うだけでなく、一分一秒、今、自分も死ぬかもしれない恐怖が連続して続いている。美しい故郷が破壊され、大切な命が人為的に殺戮される、その愚かさになぜ気づけないのだろう。寒さ、空腹、絶望の中で、人が人として尊厳を守られ生きていくことが根底から剥奪されている。

何ができるのだろうか。多くの国が、停戦、終戦に向けて対策を協議している。ロシアの中でも反戦を訴える多くの人が拘束されている。情報が国によって操作されている中で、そのまま自国を愛するが故、そのまま信じる方が容易く、流れに逆らわずに生きられる。しかし過去の戦争でも反戦を訴える人はいた。

おかしいと感じていても声をあげられない人も多いと思う。テレビの報道の中で、一人のウクライナの女性が幼い子を抱きしめながら、防空壕の中で「一ミリもロシアになりたくない！」と涙を流しておられた。その言葉の意味が胸に痛く刺さった。私も小さな組織だが、今の法人を立ち上げる前、組織に一ミリも染まりたくない強く思った。周りがトップと同じ考えだと表明する環境にいと、自分が間違っているのではないかと錯覚に陥ることもあった。何らかの組織の長たるものはそのユーザーの意見に耳を傾けるべきである。企業なら消費者の、行政なら市民の、国の代表なら国民の声を聴くべきである。そうでなければ、イエスマンのみを従えた裸の王様である。そうして作り上げた世界がどんなに歪んでいても、その環境ではそれが常識となり、自分がいかに非常識かも分からなくなってしまう。自分が信じること、正しいと思うことを殺してまでそこに居たくないと思った。

“虚偽報道禁止法”という法律をロシアは新たに作り、違反者には最長 15 年の禁固・懲役を科すと言う。

祖国が間違っていると言えるロシアの人々、一ミリもロシアになりたくない和最悪の状況でも誇り高いウクライナの女性。緑のリボンを身につける、無言で反戦の意志を訴える活動が広がっているという。ウクライナの国旗の青と黄色を混ぜた色。図らずもコロナ禍の副産物として、リモートでリアルタイムで繋がる技術を手に入れている。世界中のみんなと、手を繋ぎあってこの戦争を1日でも早く止められるよう、悲しみと希望を共有したいと思う。そしてロシア、ウクライナへの復興の支援が、世界中が一つになって協力しあえる日が、一分一秒でも早く来るように祈っている。

対談 part8 今回のテーマ ～故郷自慢～



カニミソカッパ: 今回テーマが“故郷”(ふるさと)になったのですけど、毎日コロナで大変やし、今で精一杯やし、将来どうなるんやろうとか、不審な事があっさいかもしれませんけども、必ずいつか終わるはずだし、また終わったらマスクなしで、好きなところを自転車で回ったりとか、ねえ。なかなか帰省も出来なくて。今日は、細ナイト。リーズナブルで美味しいスペイン産のスパークリングワインを飲みながら、始めたいと思います。(笑)

カニミソカッパ: 皆さん出身はどこですか？

Yu: 僕は山本！

カニミソカッパ: 山本(笑)大阪府八尾市の山本町？(笑)

皆: あははは

てんでん: すって地元ですか？すって八尾？

Yu: はい、すって八尾です！

皆: フンフン

カニミソカッパ: 八尾はどんな街ですかね、逆に住んでいる所が変わらないと比べられないとかって？

Yu: あ、でも話はよく聞くので、インターネットは良く使う。

カニミソカッパ: そうですよ、世界中の方でゲームされていますからね、色々な文化に触れあっている点では、八尾にすって生まれ育って今住んでるけど、グローバルですよ。

カニミソカッパ: うーん、どうですか八尾って？

Yu: 八尾はちょっとわかんないですけど、山本はとにかく治安がいい

皆: あ…。(笑)フフ

カニミソカッパ: 八尾はちょっと治安が悪いイメージはありますか？

Yu: あります、僕もこっちに来てから自転車の、あのう、なんやたっけ？

SOLA: はかるやつ…

Yu: 泥棒されたりとか、自転車のスピードメーターとか盗まれたりとか、

皆: へー

カニミソカッパ: ついていたやつを盗まれたんですか？こっちに来てからですか？

Yu: 久宝寺に来てから、そうですそうです。

皆: (笑)

カニミソカッパ: 山本に住んでいて治安は良かったものの久宝寺という施設がある場所に来てからちょっと治安が悪くて自転車のパーツが盗まれた。

Yu: そうですそうです。

カニミソカッパ: 大阪府はひたくりだとか治安が悪いイメージがあるんですけど、その八尾の中でも久宝寺って治安が悪い？

Yu: 普通だだと思いますね。悪すぎず良くもなく

カニミソカッパ: 大阪はひたくりワースト1をキープしている。

Yu: そうですね

カニミソカッパ: そうすると、うちの施設は立地の悪い所に立っているみたい(笑)

皆: わははは！

カニミソカッパ: MK さんおかえりなさい！

しばらく入院されてね。借りてた長屋からが火事が出てね。

MK: (困った顔)

カニミソカッパ: 暫くぶりに帰ってきておかえりなさい！！

皆: 拍手！

カニミソカッパ: 美味しくないごはん、あっ、これも言ったらアカンな(笑)

皆: あははは

カニミソカッパ: また細の美味しいごはんとおやつも作ってしく

んですけども。今日お財布を落としたんですよ。

MK: 落として、えー、ローソンかな？戻って落ちてなくて、ポリボックスに行っただけで、引っ越したばかりで、住所も何も覚えてなくて、八尾警察に連絡したら、拾った人がおって、昼ごろ？八尾警察に行ったらお財布があった。

カニミソカッパ: お財布が？すごいですよね。財布も見つからなければ、もしあったとしても中身も抜かれているかもしれませんよね。マイナンバーカードも入っててね。

皆: へー(感心)

ノリ緒: マイナンバーカードで身元がわかってね。

カニミソカッパ: 治安が良いです…

Yu: うちの祖母がカバンをひったくられて

皆: ウワー！

Yu: 財布だけすられていたそうです。

カニミソカッパ: 全部抜かれて、現金とか？免許所とか？身分書とか？

Yu: 唯一残っていたのが、温泉のポイントカード

皆: あははは

Yu: あの日は夏祭りの帰り、僕まだちっちゃい頃ですけど、夏祭り祖母と歩いていたら、バイクで後ろから来てガツと。

カニミソカッパ: 件数的には多い大阪は、ちょっと治安が悪いイメージ。確かに治安が悪いイメージは、差別と繋がりますよね。イメージはそのカテゴリーで作られています、大阪にいる人が皆悪いイメージではない、お財布を届けてくれた人もいて、お金はいつか返ってくるに抜かないで、「これは大事なものだ」と届けて下さって、時間と労力をですね。

皆: うん

カニミソカッパ: すごいいい街ですね八尾は(笑)

皆: クスクス…そうですよね…(笑)

MK: タバコは持っていた、パチンコ屋の跡地、タバコが落ちていて、行きに寄ったローソンでなくて、警察側のボックスに話して、ほんま手掛かりほんまないねん。引っ越したばかりで住所も電話もないから。

カニミソカッパ: 生活場所もまだ整ってないから、お財布とか身分証が大事ですからね。

MK: ふんだら連絡したら、あのう、あって、うんで取りに身分書になるものを探して。

カニミソカッパ: マイナンバーカードや免許がなかったらパニックになりますよね。届けてもらっていてね、安心して。不審な時間が短くてすぐ届けてもらっていて良かったですね。

はい、てんでんさんも地元、八尾に住んでいて

てんでん: でも、十三の方に住んでいたり、とかいろんなところに住んでいたりしてたんですけど、大阪を離れた事はなくて、ま、八尾は治安が悪いと言われるんですけど、どこも一緒かな？って思いますね。やんちゃしてる子とかどこいっててもいるし。

カニミソカッパ: そうですよね。田舎のほうがヤンキーとかいってるとかしてるし。

てんでん: どこも似たような感じかなと思うんですけど…

カニミソカッパ: 八尾は大阪の都会かな？(笑)

皆: あははは

カニミソカッパ: 百貨店あったけど、なくなったけどね(笑)

カニミソカッパ: 家が多くて、昔はここも20年前30年前は田んぼで。話はメンバーさんから高齢の方に聴きますけど、ま、住宅がほとんどで、ねえ、人口密度が高いかないと、27万人弱の人口と聞いているんですけども、てんでんさん小さい時にどんな事を遊んでましたか？

てんでん: 僕が小さい時は田んぼが結構あった。

カニミソカッパ: そうですね。結局20年前、子供のころ、まだ

今みたいな感じではなかった？景色が。

てんでん: まあ、そうですね、なくなったもの一杯あるんですけど、そですねあるのは、僕がちっちゃい時カエルとか取って遊んでいたんですけど

カニソカッパ: 都会の子もカエルを取って遊ぶの？

てんでん: 久宝寺緑地所の近くに田んぼが結構昔はあって

カニソカッパ: ちなみにてんでんさんは今31歳。

てんでん: 僕は31歳、僕が10歳位の約20年前位の話

カニソカッパ: てんでんさん世代もカエルと遊んでた！

てんでん: そう、カエルを取っていたとか、川、そんな綺麗な川ではないですけど、ザリガニがいたりとか、釣るところでザリガニ釣ってたとか、まあ川があるところそんな遊びをしたり。

カニソカッパ: やっぱ男の子はそんな遊びですか、モルツさんもザリガニとって遊んでましたか？

モルツ: 遊んでましたね。

カニソカッパ: モルツさんはどちらに幼少期はどこですか？

モルツ: 幼少期は兵庫やけど、

カニソカッパ: 都会？田舎？

モルツ: 田舎ですね。

カニソカッパ: こっちに来たの何歳ですか？

モルツ: っーん、3歳から4歳か

カニソカッパ: じゃあ兵庫の方が、ものごころつくまでの感じで、幼少期遊んでいたのはこっち、八尾ですか？

モルツ: 八尾ですね

カニソカッパ: どんな思い出ありますか？

モルツ: 昔は、収穫が済んだ田んぼかな、あそこで風揚げしたりとか

カニソカッパ: そうですよ、いま、歳をだしても大丈夫ですか？いまおいくつですか？

モルツ: 47歳です

カニソカッパ: 47歳、昔はやっぱりこう、あのう稲刈りした後の切り株があるんですよ。あれが霜がおりると、ザクザクという音がしてそれを踏んじゃって遊んだり、風揚げしたりしてたんですけど、私の田舎、九州の荒尾市というところも、帰省すると全然お正月でも子どもが遊んでいない、みんなゲームしてるって。

皆: っーん

カニソカッパ: うちらも冬でもほんと年齢が色々集まってなにか遊んでたんですけど、今の子はゲームが楽しいのかな～。

モルツ: それも友達とか友情とか芽生えるとか思えて、色んな世代とか、一緒に遊んでましたね。

カニソカッパ: 唐い年齢差の人と中学生とかと一緒にゲームをしていたりしてて、実はゲームの世界でも同年代じゃないんですよ。

Yu: 国籍が違う人もいて。

カニソカッパ: それはそれで、ちゃんと同じツールで遊べるもんなのですか？

Yu: そうですよ。

カニソカッパ: そうか、それはそれで、本当にグローバルですよ。でも、やっぱりお家の中なのですよ。

Yu: 今はそうですね、昔は僕も風揚げとかしていましたけどね。

MK: こま神社で風揚げをしていた。こま神社で今は噴水になっている、昔沼やってん、ザリガニ釣りしてた。

カニソカッパ: 神社でザリガニ捕りは許されるんですか？

MK: わははは

カニソカッパ: 子どもが遊んでいる間、寺内町の、こま神社だったり顕証寺だったり、ほんとに大きな神社仏閣があったり、てんでんさんは地元で、顕証寺で暴れてたりしてたのですか？

皆: あははは。暴れてたの？

てんでん: そうですね。暴れてい…遊んでもらっていて。

カニソカッパ: いいですよ。地域の子もお寺で遊んでいて、お坊さんと話す事ってあるの？

てんでんさん: なんか声をかけてくれたりとか、こういうイベントごとがあるから遊びにおいでとか、なんかそういう事を言ってもら

ったりとか、そのイベントでも、色んな物を食べられて、きぐるみ着ている人とかいて。

カニソカッパ: 子どもがそこにいる楽しいですよ。お祭りとか子どもに楽しんでほしいとかあるかもね。行事ごとって大事ですよ

てんでん: そうですね。顕証寺さんとか結構開放しているところがあって、子どもが今でも遊んでたりとか、お寺の中で走りまわっている子とか。

カニソカッパ: そうなんです。私、顕証寺にお参りに行くと小さい自転車ですら一と止まっているんですよ。私はお参りがしなかったりするんですよ。お参りしておじぎすると子どもが、じーとみてるんですよ。みんな見てくるんですよ。

皆: フフフ

カニソカッパ: 君らにおじぎをしているわけではないのですよ(笑)って感じだったりとか、かわいいですよ。

てんでん: 久宝寺の顕証寺さんも、親御さんからしても、あそこで遊んでいるって安心感も久宝寺は多かったですよね。ご近所さんでも。

MK: 久宝寺に八尾市そのものが、くすのきまさしげの時代昔古戦場で…

カニソカッパ: コセンジョウ???この話長くなりますか？(笑)

皆: フフフ

カニソカッパ: ありがとうございます。歴史にうとくてごめんなさいね。幼少期の話をミーミルさん。

ミーミル: 私生まれたのはこの八尾に生まれたんですけど、母の田舎は熊本、九州の熊本菊池出身で、白河水源とかあるんですよ。田舎の家は赤牛を飼っていて、えー姉と家族で帰省した時は、姉が子牛を触りたくて、親牛の餌を餌付けしとけと言われて

皆: わははは

カニソカッパ: 生まれたての子牛がおるのですか？

ミーミル: そうそう、しっかり歩ける、姉が子牛を触りたいが為に親牛が邪魔をするから、あたしが親牛に餌をあげてる。で姉が子牛を触る、その餌付けをされてて、私も触りたいとよっていったら、親牛も一緒に邪魔にきて、触れなかった思い出があります。あと庭には柿を干してまして。

カニソカッパ: 干し柿。

ミーミル: 干し柿、それが田舎の風景かなと思いますね。

カニソカッパ: それがお母様の故郷が菊池で、ときどき？毎年？帰ってたのかな。

ミーミル: ときどき帰ってたのかな、おじいちゃんおばあちゃんは今でも健在です。90代ですが。

カニソカッパ: 今は帰れてない、ねえ、っーん。菊池、ホントいいところ綺麗なところなんですよ。美しいところですよ。

ミーミル: 山奥ですけどね、

カニソカッパ: SOLA さんも八尾にずっといるようでそうじゃない。

SOLA: 色々引越して八尾に来ました。

カニソカッパ: 私ねえ転校生にすごい憧れましたね。転校生として何箇所とか小学校変わって、なんか楽しかったな一と場所とか思い出とかある？

SOLA: っーん、なんか一番初めの頃の学校は、保育園から一緒にいた子が小学校も一緒に上がって、なんかもうみんな顔なじみというか、その頃は人見知りもしなかったのになんか、みんなと男の子と遊んでいた。

カニソカッパ: なんか唐い“お転婆さん”とお母さんに聞いたんですよ。声もめっちゃめっちゃ大きいて。ねえお転婆さんだったんですよ。ネタはわかっているんですよ(笑)

皆: あははは。

Yu: それ問い詰めんの？(笑)

カニソカッパ: ホントお母さんから転婆さんやっただって。声が大きくてうるさいと言われるくらい学校でも大きかった。袖に来たばかりの頃は声が出せなくて、その後も小さい声で悩んでるよね？

SOLA: そうですね、おっかい声だったんですけど、でもなんか顔色が悪くて学校の先生、担任の先生に心配をされて、親と一緒に面談するとき、あのなんか顔色悪いんですけど、なんか病気がとかあるんですかと心配されていました。

カニミソカッパ: なんかあったの?

SOLA: いや、保育園の時は病弱だったんです。

カニミソカッパ: 体が弱かったりすると、田舎の方がなんか良かったりとか都会とか、環境によって要因とかありますか?

SOLA: 特になかったです。

カニミソカッパ: 思春期とかはね、年齢を重ねていくと、いろいろあるかもしれませんね。私もそうお転婆でしたからね。そしてでんでん大人しくなっていく感じでしたね…。嘘やろって顔でみんな見ないで下さい(笑) ホントに誰とも口をきかない時代もあったりしたんですけどね。うーん自分にあってる国とか自分にあってる環境とかい居心地の良い空間だったりとか自分らしくいれる場所とか、なんかそういうの、出会いや偶然とかきっかけだったりすると思っんですけど、自分にとって出会いやきっかけが、今全然違う話をしているんですけど、もしそういうきっかけの話を聞いたら面白いなと思いますね。

正宗さんと、急に振っちゃいますが、実習生の正宗さんですけども、正宗さんの出身は?

正宗: 私は奈良県

カニミソカッパ: 奈良県ですよ、はい、大きな鳥居何メートルあるか知ってます? 皆さん鳥居と言ったら鳥居ですよ!

皆: フフフ

カニミソカッパ: 普通の鳥居と言ったら何メートル位ですか。大神社の鳥居何メートルか後で調べて書いておきますね。

尚太郎: じゃあ〜ん(32.2m!!)

正宗: 大きいんですよ、家の2階3階。

カニミソカッパ: そそ、そうなんですよ。火星から見える YFO から見える建造物ですわ。凄い鳥居なんですよ! もう、本当に鳥居! 遠くから見ても「わーっ、鳥居やー!!」ってぐら!!

正宗: 凄いんですよ。その近くですね。初詣によく行っていたよな、家は近くで電車でひと駅位の所、全然田舎ですね。

カニミソカッパ: 正宗さんは、今は30歳、歳は隠すとか? 特定されないように25歳にしとこうか?

皆: フフフ

正宗: さっきおっちゃんだった、稲の凍ったのを踏んで遊んでいましたし、ザリガニとか取っていたし、夏とか山に行ってカブトムシとか取っていましたね。

カニミソカッパ: 男の子と遊んでいる方だったの?

正宗: ああ、そうですね。男の子と遊んでいる方が多かった。

カニミソカッパ: カブトムシとか廿の子しなかったものね。男の子朝早くから何してんねんと思ってましたね。

正宗: なんですかね、大人と一緒に、夜の山にいったり取りに行ったり。

カニミソカッパ: 正宗さんの時代なら百貨店で買う時代と思うんですけどねえ

正宗: 取ったらタダなんで(笑)

皆: わはははは!!

ノリ緒: なんなら売ったろかなんて

カニミソカッパ: 絶対取る方が楽しい。さてそろそろノリ緒さんの故郷自慢をいってみましょうか。

ノリ緒: 僕も大阪なんですけど、海しかない田舎なんですけど、うーん、大阪の南のほうですね。

カニミソカッパ: 海の方。結構八尾から遠いんですよね?

ノリ緒: はい、八尾から60キロ位あるので高速を使って1時間ちょい掛かるかな

MK: 堺通るの?

ノリ緒: 堺よりもっと南、和歌山にでたら早いわ

カニミソカッパ: ノリ緒少年は小さい頃でんな感じで暮らしてたのでしょうね。

ノリ緒: 基本的に転校生なので、もともと生まれがこっちの河内なので、羽曳野で育ち小学校の途中3年生に箱作りをやった

きたて感じで、その時は阪南町やってん。ほんでちょっとして、阪南市になって。

カニミソカッパ: 周りは漁師さんが多いとか、そんなこともない。

ノリ緒: いや、多分集合住宅地が4から5軒、まあまあ遠いけどベットタウンと言えばベットタウン。

カニミソカッパ: ベットタウン? なにの? 大阪の?

ノリ緒: そうそう、だいぶ南の方やったから、それなりに土地も空かったんとちゃいますか。

カニミソカッパ: 何して遊んでたんですか?

ノリ緒: 遊んでたのって、海は夏ですよ。びちびちビーチですよ。

カニミソカッパ: びちびちビーチってビキニのねーちゃん沢山いそう(笑)

皆: あはははは!

ノリ緒: ビキニのねーちゃんおらんかったよ。

カニミソカッパ: 前の作業所のしぐで、バスを使ってメンバーさんとスタッフで海に遊びにいったのですよ。もうねえ、死んだ魚が海に浮いてたんですよ。その時ジェットスキーやっている人がいて、バーンとわざとカーブしてしんだ魚と水着に赤の、あかも、赤いのがついたので。プランクトンかな。

ノリ緒: 赤潮ですかね。

ノリ緒: 二色浜も大阪の海も今は整備されて、でも今は綺麗になったんですよ。

カニミソカッパ: 海だけのせいでもなくて、陸からの農薬の規制もされて綺麗になったりもするのかな。農薬もかなり規制されましたよ。私が子供の時、小川めっちゃ綺麗でしたもの、中学になって地元の畑でも遊ばないじゃないですか、ほんだらいつの間にか、川が真っ赤になって、なんでこの川透明じゃなくなったのって、また高校とかになって、たまたまみたら透明な川にもとって、農薬のいろですよ。

MK: 光化学スモッグもあったよ。

カニミソカッパ: うん、それが海洋汚染に繋がってたり。

ノリ緒: だけど海って綺麗すぎてもアカンだよ、海って。

カニミソカッパ: なんやかんや川も海も悪くないよ、人間の問題なのよ。

カニミソカッパ: 今日は帰ってしまったNさんのエピソードがね、素敵だったんですよ。

カニミソカッパ: 鳥取のご出身の方で、コリが群生している、子どもの頃、コリが群生している所に見に行っていた。幼少期の頃、それを摘みに行って、売ってお小遣いにしていた思い出話をしてくれたイケメンのNさん。コリを摘んでるとか、とんだけ美味しいか!

てんでん: なんが憧れますよね。遊びの延長でいけるってね。

皆: そうそうそう

ノリ緒: 子供やからね。

てんでん: コリって花がこつ売れる。遊びの延長で魅力だったり、都会とかやったらビール瓶やったり瓶を集めたり、大阪でしたらなかなか生えてる所が無かったりしますものね。

カニミソカッパ: 大阪にも山のほうに色々あって、なんだっけ、かな“たらの芽”とか山の方に。

ミーミル: 柏原のブドウ園の下の方に野イチゴを取りに行っていました。

皆: へー

ミーミル: 野イチゴ取ってお腹を満たしながら摘んで、帰って食べてました。

カニミソカッパ: ミーミルさんありがどう、私もそう。私も小学校の時に廿の子二人で下校1キロ位の距離。なんかしらんげと笑い転げて、30分から1時間位、毎日笑い転がりながら道草くって、全然帰れなかった、でも本当に野イチゴスポットを知っていて、そこに行ったらシーズンに食べてね、野イチゴ美味しいですよ。

ミーミル: そうそうそう、まず割って蟻がいたら取る。甘くて美味しいのよ。

SOLA: 私が通っていた学校には、ホイイチゴが生えていて、みんな放課後袋に詰めて持って帰っていた。

カニミソカッパ: ホイチゴって野イチゴと違うのかな?

SOLA: みんな取って帰って、みんな食べてる校庭になんか生えてる。

カニミソカッパ: へー学校に生えてたんですね。

そんなんありますか? 野に生えてたのを食べてたよ(笑)

Yu: ヨモギとかは摘んで天ぷらにして食べた。

皆: ははははは、大人ですね~(笑)

カニミソカッパ: 実家の近くは、ミカン山でね、何本か実をとらないんですよ。それはおそろく渡り鳥の為にとか、登山をして喉が渴いた人の為。全然取って食べて罪ではないのですね。美味しい甘いミカンを昔はとれて食べれたのですけどね。

てんてん: 山が近いのっていいですね。

カニミソカッパ: うん、一本だけ。奈良の飛鳥村でも見ましたね。あ、ここに来たのは Candy さん。

Candy: はい、私なんですけど、子供の頃、私本籍は香川で、

カニミソカッパ: 香川県

Candy: はい、三豊の方なんですけども、四国は基本雨が少なくだまも少ないんですけども、ため池とか畑用に作ったりするのですけども、はい、四国の香川なんですけども、ため池に貯水する所があるんです。僕が3歳の頃ですかね。

皆: へー

Candy: 可愛いアヒルの親子がいたりする所でした。でも僕は、アヒルの親におしりをバクッパクッと噛まれているのに、家族みんなが大笑いして、助けてくれなかったのがトラウマです...

カニミソカッパ: はい、ありがとうございます。もっとこう話したかった事とか準備していたネタとかありますか?

SOLA: 小学校の登下校する門の所になんか、飴細工の...

カニミソカッパ: 門の所に?

SOLA: ちょっとずれた所に

カニミソカッパ: 職人さん? 飴細工の。それって小学生が払える金額で?

MK: そう、小学生の払えるくらいの

SOLA: 払えるくらいの値段で、作って欲しいやつを言って、作っているところがすごく綺麗だなーと覚えています。

カニミソカッパ: 何を作ってもらってたんですか、ピカチュウとか?

SOLA: 鳥とか。キャラクターとかではなくて、籠とか動物とか、ただ見てるだけでも見ててもいいの。

カニミソカッパ: 子供を楽ませるなんかそういう業者さんとかいたかもしれませんね。なんか美味しい物とかありましたね。買い食いするような。

SOLA: そろばん教室に通ってた時に、帰りにピワの木が生えてる所があって、その所を帰りに、そこでピワを育てている人にこんだけ採れたからあげると。全然知らない人なんですけどあげると、ありがとうございます(笑)

カニミソカッパ: 田舎って家に木の实が一杯あるのですよ。柿だったりイチジクだったりとかねえ、梅は絶対あったりとかして、玄関から道路に向けて、巨大なナツメの木があったんですよ。ご存じですか?、ナツメの実ってこんなちっちゃいんですけど、親指くらいなんですけどりんごなんですよ、味が。

皆: ぶーん

カニミソカッパ: でそれで遠足が山なんですよ。山の方だったんでいろんな学校が山に登るんですけども、ここにナツメの木があるのを知っている子がいて、けつとばして、ぶら下がって落として食べてはるんですよ。それを怒る気持ちは親も私たちも無くて、コソッと見て楽しんで感じて思ってたんですけど、そのへん木の实が八尾でもありますが、はっさく系の柑橘系がいっぱいあってるんですけども、全然家の人も採ってなければ、ポン酢に使いたいなと。(笑)

皆: フフフ

カニミソカッパ: なんがこう、ちっちゃい時に果実とか食べていたエピソードとかありますか?

Yu: 公園でピワを採って食べていた。

カニミソカッパ: ピワ美味しいですよ。鳥とか来るでしょう。ネットとかしていませんか?

Yu: いや全然

カニミソカッパ: 熟れる前に取りに来るので腹がたつんですよ。さくらんぼも熟れる前に食べられるから腹が立つんですよ(笑)

皆: フフフ

カニミソカッパ: ミーミルさんはどうでしたか?

ミーミル: 家にはイチジクの木があって、上の方にあるのは鳩やカラスが食べて、下の青いのを取って、冷蔵庫に入れて、イチジクの汁でかゆくなって、かゆいかゆいと言いながら木に登って取った思い出がありますね。

カニミソカッパ: へえ、私もイチジクはちいさい時に、母が仕事から帰ってきてむいてくれて食べた思い出がありますね、絶対夏は、イチジクが夏の匂いとかありますね。楽しいですよ。

てんてん: もともと大阪に住まわれない方って、故郷の事とか帰りたいとか恋しくなる事ってないんですか? 僕はずっと八尾なんです

カニミソカッパ: 私なんて本当にこの歳になると、故郷より大阪が長くなっちゃったんですよ。うーん、大阪に長く住んでいるんですけども、やはり故郷が心の中に有り続けてますね。帰りたいと思うんですけどね、状況も変わっていくんでね、例えば、てんてんさんのおばあちゃんもね、宮崎県出身で、ずーっと“油津”と認知症になられてからも故郷の話をされますね、お歳も85? 86? となると帰るにも、なかなか体力的にも、どこで故郷を諦めるんだろうと。私自身は、コロナで帰れないけど、いつか諦めるんだろうなと思いますね。長男がいて住んでいるなら話は変わりますけど、今は誰も住んでないので、でも山と川の景色とかは、5月のミカンの花の咲くころのにおいとか、菊池水源で足を浸かっていたとか、阿蘇山に登って、景色を眺めたいとかさ、死ぬまで幼少期の原風景が残るんだろうとか頭に浮かぶんだろうとか...

皆: ウーン

カニミソカッパ: 毎年帰れないけど帰りたいとか気持ちはありますね。故郷はなんかかって、ありますよね?

Candy: ごとわざですか?

皆: フフフ

カニミソカッパ: あっ、“遠きにありて想うもの”だ、だから皆さん八尾に住んでいる事が、当たり前だと思いかもしれないけど、仕事とか結婚とか国際結婚とかいろいろ海外へ行かれた時は、八尾が遠いな、日本が遠いな、八尾に帰りたいなと思うかもしれませんね。遠くにありて想うものなんでしょうかね。ごめんなさいね。ミーミルさんお母さんと喧嘩をいつもされてて、お母さんの理不尽な地雷にさらされて、心を痛めてはったりとかお話を伺うんですけど、お母さんと喧嘩できたりとか。大変さを知らないからね...。私は会えないので、羨ましいなと思ったりしますね。立場の違い...、遠くにあって思うのかな...

ミーミル: 私も、これが親がいなくなったらさみしいと思いますね。

カニミソカッパ: ケンカしてたなーって思うんでしょうかね。

カニミソカッパ: いてはる間になんかこうね、お互いのなんかこう... 難しいですね。感謝とか、ありがとうと思う気持ち...、親子だから信頼関係があるからケンカもできる。ねえ。

カニミソカッパ: 今日は皆さんありがとうございました。

皆: ありがとうございます~!(拍手)



ある日のにゃんごさん

お外が大好きな福ちゃん。暑かろうが、寒かろうが、雨が降ろうが関係なく、スタッフが朝出勤して、事務所に行くとき、「外に出せ～」と言。事務所から1階のキッチンの小窓までの移動が最初の難関。そう、お尻かじりにゃんごこと尚太郎と、覚馬が待ち構えています。その2匹と遭遇しないよう、2匹を一時的に休憩室に閉じ込め、福ちゃんも事務所のドア付近から廊下の様子を伺いながら、ソロ～と出て、階段をダッシュで駆け下り、いざキッチンの小窓へ。キッチンの小窓に飛び乗ると、スタッフにお顔を吹かれるのが最後の難関。目ヤニ付きのお顔では、せっかくの可愛いにゃんごが台無しです。



朝から、そんな大変な思いをして外に出てた福ちゃんですが、今年の2月ぐらいから、パツパツとお外に出なくなりました。お外で、福ちゃんに気があるノラにゃんごに追いかけられるようになったからか、はたまた、ちらほらと雪が舞い散り寒さに嫌気がさしたのか、理由はわかりません。「外に出せ～」とも言わず、たまに、事務所の扉を開けて福ちゃんに「出る？」と聞くぐらい。それでも外には出ず、ベランダで十分と言わんばかりです。

もちろん元気ですよ。毎日、日当たりの良い場所でヌクヌク、事務机の椅子でスヤスヤ、事務所で一緒にいる龍ちゃんやみかんちゃんにオラオラと喧嘩を売りに行くなど、自由気ままな生活をしています。福ちゃんも気がつけば今年で10歳。大好きだったお母ちゃんにゃんごこと天国にいる木葉と同じ年に。もう10歳、まだ10歳。まだまだ元気にお転婆にゃんごでいて欲しいと思う今日この頃でした。(ノリ緒)

ある日のお昼ご飯

毎日、日替わりメニュー1食300円もしくは、200円(値段の違いは、主菜の量の違いです)で、紬のメンバーさんに栄養バランスの良い昼食を作っています。似たようなメニューにならないよう、和洋中のお料理で定番から、初挑戦まで、今日は何かなと楽しみにしてもらいながら、毎日作っています。(暖かくなり、春の食材が増えてきました!!)

	<ul style="list-style-type: none"> ・チンジャオロース ・きゅうりとワカメの酢の物 ・卵スープ ・ご飯 		<ul style="list-style-type: none"> ・麻婆豆腐 ・ワカメとえのきのナムル ・玉葱の中華スープ ・ご飯
	<ul style="list-style-type: none"> ・若ごぼうとしめじのペペロンチーノ ・白菜のスープ ・パン 		<ul style="list-style-type: none"> ・菜の花と魚介のパスタ ・ほうれん草のクリームスープ ・サラダ ・パン
	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭のガーリックムニエル ・マカロニサラダ ・コーンポタージュ ・ご飯 		<ul style="list-style-type: none"> ・ぶりの照り焼き ・海老芋と鶏の煮物 ・たこと筍の炊込みご飯 ・揚げの味噌汁

プチ旅日記

第四回目のプチ旅日記、今回は、奈良の平城京跡での旅話になります。

2015 年 11 月 21 日、天気は良好～、体調も良好～ 午前 7 時にマフチャリの前カゴに荷物を載せて、ペダルを踏みだし八尾から奈良へ往復 71 キロの旅へいざ行こう！

まず家から東へ向かい外環状線(170 号線)を自転車で走り、八尾の町並みを観ながら、ゆっくり自転車で走行していました。途中、右手に生駒の山々を見ながら 1 時間程北上。大阪と奈良を結ぶ阪奈道路の手前のコンビニで休憩を取り、待ち合わせをしていた友人と合流しました。予定や時間を確認してから、最初の難関である阪南道路越えを開始！

自転車で当初走っていましたが、坂道とギア変化ができない自転車なので、すぐに汗だくになり、長袖を脱いで、途中から徒歩で自転車を押し、山の涼しい風を感じれて良かったです。後ろを振り返ると大阪の景色が一望でき、山頂に到着する頃には、二トして息切れをしていたので一旦休憩。水分補給をして、山から下りる感じで東生駒から薬師寺を目指しましたが、スツホのマップを確認しながらも道に迷いました。(笑) 二トしてお腹も空き、お昼ご飯は何にするかと話をしていると、ラーメン屋が目に入り、そこで昼食を取りながら、お互いに道に迷った原因の言い合いをしていると、不思議と笑い話になり、気がつけば 40 分程休憩していました。

その後、平坦な道をゆっくりと自転車で走り遂に薬師寺に到着です。寺の前の路上に自転車を止め、境内を歩き、お参りをしました。自転車を乗ろうとすると、私の足がつかない状態に！友人と笑いながら相談して、当初ゴールだった東大寺から奈良の平城宮跡へ変更しました。体を気遣いながら薬師寺から北上し午後 3 時 45 分に平城京跡に到着です。広い敷地で遊んでいる親子連れや朱雀門から見える夕陽をみて、ここまでの山越えや、道に迷った事、ご飯を食べた事等、二トで来た事を感じながらその後帰路へと着くのでした。



一人で自転車を走るより、誰かと共に道走る思い出はまた格別かもしれませんね。

次回はてんてんさんです。お楽しみに～。(=^ω^)

(Candy)

平城京跡ではい、チーズ！左の自転車で山越えしました

🍩🍩🍩🍩🍩🍩🍩🍩🍩 おやつクラブ 🍩🍩🍩🍩🍩🍩🍩🍩🍩

もち米30キロの寄付を頂きました！！

以前も、30キロ頂き、ちょっとずつ昼食のご飯に混ぜて、モチモチの美味しいご飯を頂きました。今回は、山菜おこわや、お赤飯等、色々楽しみたいと思います。

まずは、おはぎに挑戦！！ネットで調べると、もち米 2 台と普通のお米 1 台。砂糖大さじ 1 を入れて炊飯器で炊くと、次の日も固くならないそうです。炊いたお米をすりこぎで軽くつぶします。お米の粒が残っているぐらいが美味しい！

中にあんこを入れて、きなこでまぶしたり、丸めて、あんこでくるんだり、皆であつという間に出来ました。

初めてとは思えないぐらいの出来栄で、大変美味しかったです。

ありがとうございました。



新商品紹介



オープン粘土を使用して、
にゃんこちゃんとお地蔵さんの
置物を作りました。
表情も、模様も同じのはなく、
個性があって可愛いですよ！！
大きさは、約 3cm 弱です。

お選び出来るよう、様々な柄の座
布団もご用意してます。座布団も
手作りです。 **本体が350円**
座布団100円
セットで450円



羊毛フェルトを使用して、にゃんこちゃん
と鳥さんのキーホルダーを作りました。
大きさは、約 3.5cm です。

にゃんこ 400円
鳥さん 800円

メンバーさんがコツコツと作った動物柄の
刺繍のキーホルダーです。
アリオ八尾のええショップいどころで販売
しています。

800円



バザー・イベント報告

2022年3月4日(金)5日(土)障がい者フォーラム

昨年、コロナウイルスの影響もあり、開催出来なかったですが、今年は何とか開催されました。場所は、アリオ八尾2階オレンジコートと初めてのアリオ八尾での開催でした。

初めての試みとして主催である障がい者基本計画ワーキング会議のメンバーが作成された動画や、八尾市のきずな、いちよう園、しょうとく園に通われているお子様の作品展示、今までと違った取組みでしたが、アリオ八尾に来られた方が、足を止めて見ていました。

紬からも、ニャンコやお地蔵さんの置物、羊毛フェルトのキーホルダーを記念品として提供させて頂きました。今回は、記念品作りだけでしたが、来年は、手芸品の販売や、作業の体験で、イベントと一緒に盛り上げたいですね。

私の趣味紹介しま〜す



趣味といいながらも、最近は全くできてないのですが…、実は言うと、ハーフマラソンの大会に出場して、走るのが趣味なのです。タイムは聞かないで下さいね…。学生の頃、陸上部でもなく、むしろ中学までは、長距離は超苦手!寒いのも苦手なので、冬の体育でするマラソンは辛かった。「何で寒いのに走らなあかんねん」と思いながら、走っていました。高校でサッカーを始めて、少しは走れるようになり、その後は、運動不足解消にと、ジムや近くの緑地でたまに走るくらいでした。

走る事にあまり縁が無いので、いきなりフルマラソンは厳しい!半分なら、じっくりトレーニングをしたら大丈夫だろうと安易に考えたのが始まりでした。インターネットでハーフマラソンの大会を探してみると、全国、色んな所で、開催されているんですよ。小旅行も兼ねて、温泉に入って美味しい料理と地酒を頂けたらと、最初に選んだのが、石川県にある能登島で 7 月に開催されるハーフマラソンの大会でした。

大会前日に能登島にある民宿に泊まり、たまたま相部屋で、色んな大会に出場されている方と一緒にいる事に。民宿なので夕食も他の宿泊客(大会に出場される方々)と一緒に食べ、地元の食材で作ったお料理と日本酒は美味しかったですよ。さすがに大会前日なので、お酒は控えめにしました。(笑)

大会当日、初めての大会で右も左もわからず、相部屋になった方についていく形で、民宿から会場に。スタートまでに体をほぐしながらも、緊張まではほぐせず、いざスタート。走っているうちに、慣れて来たのか、周りを見られるように、気が付けば、大会のボランティアさんや、ご近所の方々が「頑張れ〜」と声を出しての応援や、中には、プラスバンドで楽器を演奏、ハイタッチでランナーを激励して下さる方も。暑さで体力が削られていく中での応援は、本当に心強く、初めての大会は、無事に完走できました。

純粋に走るというよりは、地元の方の応援と、地酒とお料理を楽しみにそれ以降も何度か別の大会も出場しました。このコロナ渦を理由に走るのを止めていますが、もう少し落ち着いたら、トレーニングをして、また大会に出てみようかな。
(ノリ緒)

《 ご寄付・賛助会費のお礼 》

沢山の方よりご寄付、賛助会費、もち米、お菓子、ハムのセットを頂き、誠にありがとうございました。皆様の温かいお気持ちを頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。メンバーさんの支援の為、必要な物や法人の活動の為に、大切に使用させて頂きます。

法人が設立して 8 年が経ちました。地域の方に温かく見守られながら、メンバーさんの夢や希望を実現していく場所を守り、さらなる事業を発展させていく為にも、まだまだ資金が不足しています。

今後とも皆様の温かい、ご支援とお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。

- ・ご寄付、賛助会費を頂いた方：合田 淑子 様、福田 瑠美子 様、高岡 敦 様、甫田 知彩樹 様、吉永 いち 様
- ・匿名にて、ご寄付、賛助会費を頂いた方：5 名
- ・匿名にて、もち米 (30kg)、お菓子、ハムのセットを頂きました。
- ・八尾地区募金会 様より、赤い羽根共同募金の助成金 (37,931 円) を頂き、非常食を購入しました。以前にも、赤い羽根共同募金の助成金で、非常食を購入したのですが、賞味期限が切れたので、再度、購入しました。今回は、前回より賞味期限が長いのを選びました。

主菜として、マジックパスタ (カルボナーラ、ペペロンチーノ、きのこパスタ) を合計 24 食分
副菜として、美味しい防災食 (筑前煮、肉じゃが、ハンバーグ煮込み) を合計 60 食分

以前購入した非常食は、期限が切れる前に、非常食を知ってもらう為に、職員と利用者さんで食べました。いざという時の備えとして、有事の際は、利用者さんに少しでも元気になってもらえれるよう、活用したいです。皆様の貴重な募金より、非常食を購入させて頂き、誠にありがとうございました。



1991年9月3日 第三種郵便物承認 毎月 (1・2・3・4・5・6・7・8・の日) 発行
 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪府大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階 定価10円

編集後記

テラスをどんだけやっても体重が減らない... 一大決心でフィットネスジムに通い出した。なのに... まだ増え続ける体重。どうして?? (カ一味噌河童)

つい最近、帰っている時に、例のプリケツこいこいさん(地域ねこ)がすまん寝をしていました。写真を撮ろうとしたら、走り去っていきました。(てんてん)

休日にお昼の時間を避けて、お昼ご飯を食べにお店に行ったら、満席、別のお店に行っても満席。行くところ全て満席。そんな事ありませんか? 最近、昼ご飯を求めてさまよう事が多いのは何故だろう?? (ノリ緒)



賛助会費、ご寄付振込み先
 お振込み先: ゆうちょ銀行
 座名: 特定非営利活動法人ロータス
 座番号: 00910-4-305976
 座店名: ○九九店(099)

編集人: NPO法人ロータス編集部 Yojoyo~Hands
 住所: 〒581-0072 大阪府八尾市久宝寺3-1-22
 TEL/FAX: 072-992-0225 (オーニャーニャンコ)
 メールアドレス: tsumugil210@abelia.ocn.ne.jp
 ホームページ: http://lotus.nyanta.jp/